

学校だより

No. 7 11月

深谷

令和4年10月31日

横浜市立深谷小学校

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fukaya/>



優しさのバトンをつなぐ

校長 石原 加代子

爽やかな天候に恵まれ、10月22日に「50周年記念スポーツフェスティバル2022」を開催しました。保護者の皆様におかれましては、感染対策にご理解いただき、マナーを守り、譲り合って参観して下さり心から感謝申し上げます。

スポーツフェスティバルは、学校教育目標「自ら学び 伝え つながる深谷っ子」を実現するための大切な行事の一つです。50周年記念のテーマ『優しさをつなぐ』ことを念頭に、異学年同士のかかわり合いを通して、つながりを深めるように努めました。子どもたちは仲間とともにスローガンを達成しようと、目標を意識して主体的に取り組みました。

得点をつけず赤白に分けずに行いました。全校が一つにまとまるように盛り上げたいという6年生の想いで応援団を一つにした結果、主体性が高まり、意欲的に応援の仕方を考えました。当日も、気合のこもった応援で会場全体が一体となりました。

低中高ブロックの演技では、実行委員が中心に動きを考えたり、友達と協力したりしてよりよい動きを目指しました。各ブロックの上学年は下学年の手本となり、優しく教える姿がよく見られました。一人ひとりが緊張感を乗り越え、自信に満ちていました。特に、高学年は個人としても集団としても輝き、やる気の漲る圧巻の演技を披露しました。深谷小学校区盆踊り実行委員会の皆様から寄贈していただいた、真新しい法被が子どもたちをより輝かせていました。仲間と息がぴったり合った心地よさを味わったことでしょう。

リレーでは、高学年が低学年に教えながら練習し、どのチームも一丸となり、練習の成果を発揮しようと頑張りました。チームでバトンをつなぐ姿は、協力する大切さや最後まであきらめずに全力を尽くす大切さを示したことでしょう。

6年生の一人ひとりがリーダーとしてなかよし班をまとめ、上級生は下級生に優しく気を配っていました。それぞれの個性を認め、急かさず友達を見守り、会場全体が温かい空気に包まれました。子どもたちの振り返りからも、異学年同士のかかわり合いを通して、互いに自己有用感や自尊感情を高めたことが分かります。自分の役割に精一杯取り組む姿・目標に向かって真剣に頑張ろうとする姿・温かく応援する姿に何度も胸が熱くなりました。参観している方々から自然に沸いた拍手は、大きな励みになったにちがいありません。観ている人に元気と感動を与え、「仲間とともに目標に向かって心をつなぐ」達成感あふれるスポーツフェスティバルになったと自負しています。

P T A役員をはじめ、たくさんの方々にお力添えをいただきました。近隣の方々には本校の教育活動にご理解をいただき、温かく励ましてくださいました。深谷小学校区盆踊り実行委員会の皆様から、テントも寄贈していただきました。心から感謝申し上げます。

教職員は、安全に実施できたことに安堵しながら、一人ひとりの大きな成長を実感し、感動の余韻に浸りました。今後も、豊かなかかわり合いを大切にしてつながりを深め、さらなる成長が見られるように教職員一同、より一層努めてまいります。

さて、11月19日には創立50周年記念式典を開催します。深谷っ子を中心に『優しさのバトン』を未来へしっかりつなげたいと思います。今後も地域の皆様・保護者の皆様の温かいご支援をお願いいたします。

